

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年6月20日（月）午後7時～8時30分

場 所 元福岡集会所（元福岡自治会）

参加者 28人



主な意見等

参加者 元福岡地区も空き家がたくさんありますが、市として対策はどのように考えていますか。

市 長 空き家につきましては、国が特別措置法を作り、市から改善命令を出せるようになりました。また、場合によっては固定資産税を更地並みに高く課税することができるようになりました。宅建組合などと協力して空き家を活用することなども検討しており、取り組みを進めているところです。

会 長 空き家の件数を調べたところ元福岡地区では19軒ありました。また、空き家ではなく人が住んでいる家の場合でも、植木の管理が出来ていないという苦情がよく寄せられます。植木がぼうぼうに生えているとスズメバチの巣などもできてしまいますので、住んでいる方もぜひ適正な管理をお願いしたいと思います。

参加者 日本無線の跡地はどのようなになるのでしょうか。

市 長 イオンタウンが入る予定になっています。郵便局は残るとのことです。土地の用途が工業系用途となっており、本来商業用途として開発することは出来ないという規制があるのですが、地区計画を策定して進めることとなりました。来年秋オープン予定とのこと。

企業内保育施設などを入れてもらうこととなりました。

また、市からの要望として、公民館等の前なので駐車場を使わせてもらいたいと伝えたところ、買い物はしなくても良いのでどうぞ使ってくださいとのことでした。

参加者 ふるさと納税について市はどのようなことを考えていますか。

市長 私はふるさと納税という制度自体には納得していません。現在の返礼品合戦も良くないと思います。しかしながら、近隣の状況などを踏まえ、ことしの7月から寄付金の使途と返礼品の設定をして市のPRをしていきます。

返礼品の案として、空き家になっている物件の草むしりなどをやったらどうかという意見も出ています。今後も検討を進めていきたいと思っています。

参加者 元福岡地区も高齢者が多くなってきました。荷物の片付けも難しく、ごみが積んである家もあります。火をつけられてしまったら大ごとです。

市長 ご近所だと長年の付き合いもあり、声をかけるのも難しい部分があると思います。地元の皆さんから情報提供をいただきまして、市として何かできないか課題として研究してまいります。

会長 自治会でも防犯活動として毎月第3水曜日に夜回りをしており、安心してらせるまちにしていきたいと思っています。

参加者 地震・水害等の災害時の緊急避難場所はどこでしょうか。また、避難の伝達手段、食糧の備蓄について教えてください。元福岡地区はもともと西沼と呼ばれ、沼を埋めて整備した地域のため、不安があります。

市長 この地域の避難場所は葦原中学校です。水害の場合は上福岡公民

館となっています。

伝達方法につきましては、基本的には防災無線で行っており、自治会長へも連絡します。避難勧告は、あと少し早く出していればという状況になってからは遅いですので、結果として空振りになったとしても出していく方針です。

食糧等の備蓄につきましては、通常の備蓄としては飲料水が500ミリペットボトルで1万7千本ですが、ほかにも飲料水用の井戸、災害協定による物資供給、耐震貯水槽が市内に数か所あります。国からは3日間しのいでほしいと言われていています。1日2食として、県が1日、市で1日、住民の皆さんで1日分をストックしてほしいと思います。すべての家が駄目になる確率は低いと思いますので、残った家の方にも協力をお願いしながら食糧の確保をしていこうと思っています。県も過剰な備蓄は行わない方針で、他からの支援を受けやすいよう、受援体制を整えていこうと計画しています。

会 長 市から元福岡自治会に防災備品の整備費として毎年20万円ずついただいております。発電機やリヤカー、テントなどを整備してきています。自治会でも一人暮らしの高齢者の救助等について議論をしていきたいと思っています。

市 長 防災備品の整備にはかなりのウェイトを置いています。

参加者 市内循環ワゴンについて、見直しで市役所の前に止めてもらえないでしょうか。大日本印刷前から上野台団地入口まで止まりません。

市 長 ご要望として賜りました。現在実証運行中のため、検討してまいります。

参加者 1日乗り放題券や回数券、乗り継ぎ券をつくったらどうでしょうか。

市 長 回数券と乗り継ぎ券は9月から発行する予定で進めております。お出かけサポートタクシーや市内循環ワゴンでは、前のバスよりも費用負担は多くなると思います。それでも高齢者の方に活用していただくことで費用対効果も出てくると思っています。

また、市の事業が民業を圧迫して民間のバス路線が廃止されてしまうことも避けなければならないことなどから、有料化につきましてはご理解いただきたいと思います。バス会社の既存路線、例えば上福岡駅とふじみ野駅間の路線などは採算が取れなかったため廃止になりましたが、その路線の設定についても市に対して要望がやはりあります。そういった路線も、利用者にご負担いただくことでうまく採算が取れば、設定の検討も行えると思います。

参加者 サポートタクシーはしののめの里へ行けるようにはならないでしょうか。

市長 サポートタクシーは大前提が市内ということがあります。タクシー会社に専用車を確保してもらっていることなどから、課題は多いと思います。しかしながら、実証運行を検証していく中で課題が解決できれば実現できるかもしれません。

参加者 4月に差別解消法が施行されましたが、市としての取り組みはありますか。

市長 今まで以上に合理的な配慮が求められると思います。対応マニュアルを作成し窓口での接客や行政運営を図っているところです。